

法務業務の合理化を実現する「LegalForce」クラウドβ版サービス提供開始 — 自然言語処理を用いたクラウド型契約書レビュー支援ソフトウェア —

株式会社 LegalForce（本社：東京都中央区 代表取締役 角田望／小笠原匡隆、以下LegalForce社）（<https://www.legalforce.co.jp/>）は法務業務の合理化を実現する自然言語処理を用いたクラウド型契約書レビュー支援ソフトウェア「LegalForce」について、4月末日よりクラウドβ版サービスの提供を開始します。合わせて「LegalForce」を導入し実証実験に協力していただくプロダクトパートナーの募集を開始することを報告します。



「LegalForce」イメージ画面

多くの人により高度なリーガルサービスを楽しむことができる社会へ

法務部門は高度な専門知識と経験を有し、経営判断支援、法律相談・契約書審査を通じたリスク予防やガバナンス、内部統制への関与など、事業成長を加速させていくための役割を期待されています。しかし、実際には法律文書の形式チェックなど、定型業務に多く時間が費やされています。

LegalForce社は法務業務をデジタル化し、弁護士をはじめとする法務プロフェッショナルが事業部やクライアントとのエンゲージメントを高め事業推進に貢献できること、また、より多くの企業が適切なリーガルサービスを楽しむことを目指し、自然言語処理を用いたクラウド型契約書レビュー支援ソフトウェア「LegalForce」の開発に着手しました。

自然言語処理および機械学習を用いて、契約書レビュー業務を支援

「LegalForce」はクラウド型ソフトウェアとして、契約書をはじめ、法律文書の管理や事業部・クライアントとのコミュニケーションをデジタル化すると同時に、自然言語処理技術を応用して法律文書のレビュー支援を目指します。

β版では上記のうち一部の機能を通じて、契約書レビュー・管理業務の効率化に貢献することを目指しております。京都大学との共同研究に基づき開発中の自然言語処理プログラムについても、一部導入を予定しております。

プロダクトパートナープログラム開始について

「LegalForce」クラウドβ版を導入し、改善点、要望などをフィードバックしていただける企業や法律事務所を募集します。プロダクトパートナーにご興味のあるお客様は下記お問い合わせ先へご連絡ください。

LegalForce社は「日本の法務を、スマートに。」をコンセプトに、自然言語処理を用いて法務業務をデジタル化し、事業部やクライアントとのエンゲージメントの向上、および高付加価値なリーガルサービスの実現に貢献し続けていきます。

〈お問い合わせ先〉株式会社 LegalForce <https://www.legalforce.co.jp/>